

科目番号	50005	分類	研究	履修者	高度実践助産コース (共通科目)		学年	
科目名	研究特論 (Theory and Methodology on Research)						1 配当セメスター 前期	
担当者	○手島恵 他6名	区分	必修	単位	2	時間数	30	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概 要】 看護研究における初步的な研究テーマの設定法、データ収集法、倫理上の配慮など、研究を進める上で必要な知識の理解を深める。また、研究成果を学会あるいは学術誌に発表するためのプレゼンテーションおよび論文作成に関する基本的な手法について修得する。						1.自律して自然分娩の支援ができる能力 2.院内・院外助産システムを担うことができる能力 3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力 4.周産期の救急時に対応できる能力 5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力 <input type="radio"/> 6.研究・開発能力 <input type="radio"/> 7.倫理的・意思決定能力		
授業計画								
回	内 容						担当教員	
第1回	研究倫理と研究公正						手島 他6名	
第2回	看護研究の基礎と研究の概念							
第3回	文献レビュー							
第4回	研究計画書の作成							
第5回	看護研究のためのデザイン1（量的研究）							
第6回	看護研究のためのデザイン2（質的研究）							
第7回	測定とデータ収集							
第8回	研究データの分析1（記述統計と量的データ）							
第9回	研究データの分析2（質的データ）							
第10回	研究の目的と方法1（課題発表と討論）①質的研究							
第11回	研究の目的と方法2（課題発表と討論）②調査研究							
第12回	研究の目的と方法3（課題発表と討論）③実験研究							
第13回	結果の解釈と考察							
第14回	研究論文の構成と作成							
第15回	学会発表におけるプレゼンテーション							
事前・事後 学習	事前に参考図書で学習しておくことが望ましい。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。							
評価の方法	講義の出席、参加状況によって評価する。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書 ・資料等	◎1) D.F.ポーリット/ C.T.ベック 著、近藤潤子 訳：看護研究 原理と方法、医学書院 2) グレッグ美鈴他：よくわかる質的研究の進め方、まとめ方 一看護研究のエキスパートを目指して。医歯薬出版 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							